

大阪国際大学

令和元(2019)年度

自己点検評価書(簡易版)

令和 2(2020)年 11 月

目 次

1. 令和元（2019）年度大阪国際大学自己点検評価書（簡易版）の公表にあたって	p. 1
2. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等	p. 2
3. 沿革と現況	p. 3
3－1. 本学の沿革	
3－2. 本学の現況	
4. 大学自己点検評価書（簡易版）作成のための大学自己点検の方法	p. 8
4－1. 一次点検の方法	
4－2. 二次点検の方法	
5. 大学自己点検の結果	p. 10
5－1. 一次点検の回答の概観	
5－2. 二次点検の回答の考察	
5－3. 自己点検全体の要約	
6. 資料 ： 大学自己点検の一次点検及び二次点検の回答の一覧	p. 17

1. 令和元(2019)年度大阪国際大学自己点検評価書(簡易版)の公表にあたって

周知のとおり、平成 29(2017)年度、大阪国際大学（以下、本学）は公益財団法人日本高等教育評価機構（以下、評価機構）による認証評価を受審し、「適合」の判定結果を得た。その受審年度以降、評価機構は評価基準を大幅に見直した第 3 期評価システムに移行した。その要諦は、大学に自律的な改革サイクルを求め、ディプロマ・ポリシーなどを基本とした内部質保証を機能させることである。

続いて平成 30(2018)年度、本学は改善活動の定着を企図して、また新しい評価システムに対応すべく現状の内部質保証を把握し課題を解決するため、評価基準項目に対して各部署が改善の取り組みの程度を段階評定で回答する簡略な方法などを採り入れた自己点検を実施して「平成 30（2018）年度大阪国際大学自己点検評価書（簡易版）」を公表した。このような経緯をふまえて、本学は令和元(2019)年度も大学自己点検を実施することを決め、前年度に引き続き簡易版という形式を選択した。

しかしながら、本学の大学自己点検実施委員会にて内部質保証の在り方を議論する過程で、前年度の簡易版の形式を踏襲するだけでは自己点検の「不十分感」が拭えないという問題が提起された。さらに改善サイクルを促進するための具体的方法論の欠如についても指摘があった。

そこで、前年度と同じく評価基準項目に各部署が回答する点検に加えて、新たにその回答に対して取りまとめ部署もしくは役職者が総括する点検を実施することにした。前者を一次点検、後者を二次点検と見なし、現場の直接的評価と間接的評価により自己点検を重層的に行い、改善サイクルの促進の可能性を追求した。以上のことから、ここに「令和元（2019）年度大阪国際大学自己点検評価書（簡易版）」を公表することにする。

2. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

大阪国際大学を設置する大阪国際学園グループの建学の精神は「全人教育」である。遡ること昭和 4(1929)年、学園創立時の学校要覧において「本校教育の眼目」に記された「人間を作る教育」を起点として、平成 4(1992)年、本学園は創立時から連綿と継承されてきた建学の精神である「人間を人間らしく育む教育」を「全人教育」という言葉として確認し現在に至っている。また、本学園の理念は「建学の精神である『全人教育』を基礎として、礼節を重んじ、世界に通じる心豊かな人間を育成します」と謳い、その理念を表すキーワードとして「GLOBAL MIND」を掲げている。

この理念を基本として、大学の学則第 1 条（目的）には、「全人教育を推進し、創造する力を培う。この目的に沿って、普遍的な倫理感を育みつつ、国際的視野に立つ広い知識、深い専門学術及びそれらの実社会への適用を教授し、研究する。」ことを宣言している。この「全人教育」を達成するために、1 年次から全員が所属するセミナーにおいて、各セミナー担任である専任教員が履修指導から学生生活に関する相談や個別面談など、きめ細かい学生対応を実施している。また、学長が中期ビジョン「Vision 2021」を表明して、「国際交流・地域貢献・課外活動」を学長 3 本柱という主要な学生教育の実践機会として位置づけている。国際交流に関しては様々な海外研修プログラムを準備し毎年多くの学生を海外へ送り出し、地域貢献については関西国際空港での外国人観光客へのボランティア活動や市民公開講座の定期的開催等幅広い取り組みを展開し、そして課外活動では平成 29(2017)年 1 月より新グラウンド・新体育館を開設しスポーツクラブの活動の充実にも注力している。

3. 沿革と現況

3-1. 本学の沿革

昭和 4(1929)年	帝国女子薬学専門学校の姉妹校として帝国高等女学校を設立
昭和 13(1938)年	帝国高等女学校設立者を財団法人帝国学園とする
昭和 22(1947)年	学制改革により帝国学園中学校開設
昭和 23(1948)年	学制改革により帝国高等女学校は帝国女子高等学校となる
昭和 26(1951)年	財団法人帝国学園を学校法人帝国学園に改組
昭和 27(1952)年	帝国学園附属幼稚園開設
昭和 34(1959)年	帝国女子高等学校に商業科を開設
昭和 37(1962)年	帝国女子高等学校（大和田校）を開設、帝国女子短期大学（家政科）を開設
昭和 38(1963)年	帝国女子短期大学に英文科を開設、家政科に栄養士課程を付設
昭和 40(1965)年	帝国女子大学（家政学部家政学科）を開設、帝国学園附属大和田幼稚園開設
昭和 41(1966)年	帝国女子大学家政学部に食物学科を開設
昭和 43(1968)年	帝国女子大学家政学部食物学科に栄養士課程を付設
昭和 44(1969)年	帝国女子大学家政学部に被服学科を開設
昭和 47(1972)年	帝国女子大学家政学部に児童学科を開設
昭和 49(1974)年	帝国学園中学校を休校
昭和 50(1975)年	帝国女子大学家政学部家政学科を廃止
昭和 51(1976)年	帝国女子短期大学に幼児教育科を開設
昭和 52(1977)年	帝国女子大学附属幼稚園開設
昭和 53(1978)年	帝国女子高等学校（大和田校）を帝国女子大学大和田高等学校として独立
昭和 54(1979)年	学園創立 50 周年記念式典挙行
昭和 59(1984)年	帝国女子短期大学に国際文化学科を開設

昭和 60(1985)年	帝国学園中学校を帝国女子大学大和田中学校に名称変更し再開
昭和 63(1988)年	大阪国際大学（経営情報学部経営情報学科）を開設
平成元(1989)年	帝国女子短期大学の英文科を英語科に名称変更 学園創立 60 周年記念式典挙行
平成 4(1992)年	帝国女子大学、帝国女子短期大学、帝国女子高等学校、帝国女子大学大和田中・高等学校、帝国学園附属幼稚園、帝国学園附属大和田幼稚園、帝国女子大学附属幼稚園にそれぞれ「大阪国際」を冠して校名変更 大阪国際大学に政経学部政経学科を開設 大阪国際女子大学家政学部を改組し、人間科学部コミュニケーション学科・人間健康科学科を開設
平成 5(1993)年	大阪国際滝井高等学校商業科を廃止 大阪国際大学に大学院経営情報学研究科修士課程、留学生別科を開設 学校法人大阪国際学園に法人名称変更 大阪国際枚方幼稚園を廃止
平成 7(1995)年	大阪国際大学大学院経営情報学研究科に博士課程を開設
平成 8(1996)年	大阪国際滝井幼稚園を廃止
平成 9(1997)年	大阪国際女子大学人間科学部に国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科を開設 大阪国際女子短期大学英語科募集停止
平成 10(1998)年	大阪国際大学に大学院総合社会科学研究科修士課程を開設 大阪国際女子大学人間科学部コミュニケーション学科を社会コミュニケーション学科に名称変更
平成 11(1999)年	学園創立 70 周年記念式典挙行
平成 12(2000)年	大阪国際大学政経学部政経学科を法政経学部法政経学科に名称変更

平成 14(2002)年	大阪国際大学に人間科学部心理コミュニケーション学科・国際コミュニケーション学科・人間健康科学科・スポーツ行動学科を開設、大阪国際女子大学学生募集停止 大阪国際女子短期大学を大阪国際大学短期大学部に名称変更大阪国際滝井高等学校に国際科を開設 大阪国際大和田中・高等学校を男女共学化
平成 17(2005)年	大阪国際大学短期大学部幼児教育科を幼児保育学科に名称変更
平成 19(2007)年	大阪国際大学人間科学部国際コミュニケーション学科を改組し、国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科を開設
平成 20(2008)年	大阪国際大学経営情報学部・法政経学部を改組し、ビジネス学部経営デザイン学科・経済ファイナンス学科、現代社会学部情報デザイン学科・法律政策学科を開設 大阪国際大学短期大学部家政科・国際文化学科を改組し、ライフデザイン総合学科を開設、同学科（栄養士コースのみ）、幼児保育学科を男女共学化
平成 21(2009)年	学園創立 80 周年記念式典挙行
平成 22(2010)年	大阪国際大学短期大学部家政科を廃止
平成 23(2011)年	大阪国際大学短期大学部国際文化学科を廃止
平成 26(2014)年	大阪国際大学大学院総合社会科学研究科修士課程募集停止 大阪国際大学ビジネス学部・現代社会学部を改組し、グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科を開設 大阪国際大学短期大学部ライフデザイン総合学科（キャリアデザインコース、観光・英語コース）を男女共学化

平成 27(2015)年	大阪国際大学大学院総合社会科学研究科修士課程を廃止 大阪国際大学国際コミュニケーション学部を改組し、国際教養学部国際コミュニケーション学科・国際観光学科を開設 大阪国際大和田幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行
平成 30(2018)年	大阪国際大学グローバルビジネス学部を改組し、経営経済学部経営学科・経済学科を開設 大阪国際大学人間科学部スポーツ行動学科を男女共学化
令和元(2019)年	学園創立 90 周年記念式典挙行

3-2. 本学の現況

大学名

大阪国際大学

所在地

- ・大阪府守口市藤田町 6-21-57（守口キャンパス：メインキャンパス）
- ・大阪府枚方市杉 3-50-1（枚方キャンパス：グラウンドのみ）
- ・大阪府守口市高瀬町 4-1-19（松下町校地：グラウンド・体育館のみ）

学部構成

- ・大学院経営情報学研究科（平成 5(1993)年 4 月開設）
- ・現代社会学部（平成 26(2014)年 4 月学生募集停止）
- ・グローバルビジネス学部（平成 26(2014)年 4 月開設）
- ・経営経済学部（平成 30(2018)年 4 月開設）
- ・人間科学部（平成 14(2002)年 4 月開設）
- ・国際コミュニケーション学部（平成 27(2015)年 4 月学生募集停止）
- ・国際教養学部（平成 27(2015)年 4 月開設）

学生数、教員数、職員数

令和元(2019)年5月1日時点

学部等名	学科等名	学生数
経営情報学研究科	経営情報学専攻（博士（後期）課程）	2
経営情報学研究科	経営情報学専攻（修士課程）	3
現代社会学部	情報デザイン学科	1
グローバルビジネス学部	グローバルビジネス学科	272
経営経済学部	経営学科	192
	経済学科	147
人間科学部	心理コミュニケーション学科	319
	人間健康科学科	348
	スポーツ行動学科	455
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	9
国際教養学部	国際コミュニケーション学科	344
	国際観光学科	336

- ・教員数：本務者 90、兼務者 138
- ・職員数：本務者 76、兼務者 33（短期大学部併任者を含む。兼務者に派遣職員 3 人を含む。）

4. 大学自己点検評価書(簡易版)作成のための大学自己点検の方法

4-1. 一次点検の方法

一次点検で用いる点検項目として、評価機構が第3期評価システムの評価基準として公開した「平成31年度 大学機関別認証評価 受審のてびき」に示されている「評価基準等と自己判定の留意点」にもとづき自己判定に関する93項目を作成した。その項目は、「基準1. 使命・目的等」、「基準2. 学生」、「基準3. 教育課程」、「基準4. 教員・職員」、「基準5. 経営・管理と財務」、「基準6. 内部質保証」の各基準を構成する「基準項目」における「評価の視点」と「評価の視点に関わる自己判定の留意点」の記述を採用した。

このように作成した93項目について、学部に設置された各学科及び機構に設置された各部会、そして事務局に設置された各部署に対して該当する項目への回答を求めた。回答は、該当する項目における現時点での達成度について「まったくできていない」、「できていない」、「どちらともいえない」、「できている」、「とてもできている」の5段階のうち1つを選択し、またその項目における現時点での「課題」があれば記述し、そしてその項目に関するエビデンス資料について「有」、「無」のいずれかを選択し、エビデンス資料が有れば「資料名」を記述する形式であった。これらの回答方法は前回と同様である。

さらに今回の一次点検においては、「改善結果の評価」とは別に「改善過程の評価」を捉えることを目指し、該当する項目を含んだ各基準について改善に取り組んだ程度を「0」から「5」の整数で得点化すること、また当該年度の改善の取り組みについて自由記述でコメントすることを求める形式を加えた。

以上の手順による一次点検は当初、令和2(2020)年3月に各学科及び各部会、そして各部署に回答を依頼し同月中に回収する予定であったが、コロナ禍により同年6月に回答を依頼し翌7月に全ての回答を回収することになった。

4-2. 二次点検の方法

各学科及び各部会、そして各部署を取りまとめている学部・機構・部署の監督責任者に対して二次点検の回答を求めた。その手順は、一次点検の対象の回答を閲覧したうえで、総括的な評価を記述することを求めるものである。

具体的には、回答用紙に「二次点検実施部署・役職者」として監督責任者である二次点検の回答者名、「一次点検実施部署」として一次点検の対象の名称を明記し、「総括的評価コメント欄」を設けた。なお、回答用紙とは別に二次点検の依頼文に、「一次点検と二次点検の結果をもとに現状の課題の再確認」と「改善の取り組みにつなげる」ことを監督責任者に促す文言を記した。

この手順で令和2(2020)年8月末から9月初旬にかけて回答を依頼し、同9月に全ての二次点検の回答を回収した。

一次点検の対象	二次点検の回答者
各学科	各学部長
各部会、基幹教育機構事務室	基幹教育機構長
教学・教職センター	担当副学長
教務課、学生課、FDセンター、 学修支援室、課外教育センター	学務部長
入試・広報部	担当副学長
キャリアサポートセンター、国際交流センター、 地域協働センター、学長室	担当副学長
学生相談室、健康管理室	学生総合支援部長
庶務課、情報システム室	大学事務局長
図書館事務室	図書館長
財務会計課、監査室、総務・人事課（総務）、 総務・人事課（人事）	法人本部事務局長

5. 大学自己点検の結果

5-1. 一次点検の回答の概観

1) 基準に関する項目の達成度について

各学科及び各部会、そして各部署が、6つの評価基準に関する項目についてどれほど達成できたと判断しているかという達成度の回答を概観したところ、以下のとおりであった。

1つめの“基準 1. 使命・目的等”における‘1-1. 使命・目的及び教育目的の設定’と‘1-2. 使命・目的及び教育目的の反映’をみたところ、学長室は一部について「どちらともいえない」と回答した以外、他の項目は「できている」と回答し、庶務課は一部について「できていない」と回答した以外、他の項目は「できている」と回答した。

2つめの“基準 2. 学生”における‘2-1. 学生の受け入れ’は、ほとんどの学科及び入試・広報部が、多くの項目に対して「できている」、「とてもできている」と回答した。‘2-2. 学習支援’は、各学科、教学・教職センター、学長室、学生相談室及び学修支援室がほとんどの項目に対して「できている」、「とてもできている」と回答した。‘2-3. キャリア支援’は、各学科、教務課及びキャリアサポートセンターがほとんどの項目に対して「できている」、「とてもできている」と回答した。‘2-4. 学生サービス’については、各学科、法人本部以外の事務局各部署から回答があり、おおかた「できている」、「とてもできている」という回答であった。‘2-5. 学修環境の整備’は、各学科、教学・教職センター、教務課、学生課、課外教育センター、学修支援室、図書館事務室、情報システム室、庶務課が一部の項目に対して「できていない」、「どちらともいえない」という回答が見られるが、多くの項目に対して「できている」、「とてもできている」という回答であった。‘2-6. 学生の意見・要望への対応’は、各学科、教務課、学生課、国際交流センター、地域協働センター、学修支援室、庶務課の各部署が回答可能な項目について「できている」、「とてもできている」と回答した。

3つめの“基準 3. 教育課程”の‘3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定’は、各学

科及びほとんどの部会、そして教務課が全ての項目に対して「できている」、「とてもできている」と回答した。‘3-2. 教育課程及び教授方法’では、各学科、各部会、教務課、FDセンターが関連する項目に対して概ね「できている」、「とてもできている」という回答であった。‘3-3. 学修成果の点検・評価’については、各学科、各部会、教学・教職センター、教務課、学生課、FDセンター、キャリアサポートセンターが関連する項目に対して「できていない」、「どちらともいえない」、「できている」、「とてもできている」など多様な回答を見せた。

4つめの“基準 4. 教員・職員”の‘4-1. 教学マネジメントの機能性’は、各学科、教学・教職センター、基幹教育機構事務室、学長室において概ね「できている」、「とてもできている」と回答した。‘4-2. 教員の配置・職能開発等’については、各学科、教学・教職センター、基幹教育機構事務室が回答した。一部項目をのぞいて大凡高い達成度の回答であった。‘4-3. 職員の研修’に関する項目には総務・人事課（人事）が「できている」と回答した。‘4-4. 研究支援’については、各学科、教学・教職センター、庶務課が関連項目において低い達成度から高い達成度まで多様な回答であった。

5つめの“基準 5. 経営・管理と財務”の‘5-1. 経営の規律と誠実性’と‘5-2. 理事会の機能’の項目に対しては、総務・人事課（総務）と監査室が「できている」、「とてもできている」と回答した。‘5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック’については、総務・人事課（総務）、監査室、庶務課が該当する項目に対して一部「どちらともいえない」があったものの、他は「できている」、「とてもできている」と回答した。‘5-4. 財務基盤と収支’の項目は財務会計課が「できている」、「とてもできている」と回答した。‘5-5. 会計’の項目は、財務会計課が2項目のいずれについても「とてもできている」と回答した。

最後の“基準 6. 内部質保証”では、庶務課が‘6-1. 内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立’と‘6-2. 内部質保証のための自己点検・評価’について、

現状把握のための調査とデータ収集そしてその分析を行うための体制整備に関する項目に対して「できていない」と回答した以外は、「できている」という回答であった。‘6-3. 内部質保証の機能性’については、庶務課が内部質保証の仕組みの機能に関する項目に対して「できている」、三つのポリシーと内部質保証による教育の改善・向上に関する項目に対して「どちらともいえない」という回答であった。

以上のように、6 つの基準に関する項目の達成度については、全ての学科及び部会、そして部署の回答は5段階評価の上から2つめの「できている」が多いことから、その程度が高い方であると言える。しかし、この結果に満足することなく、一部の「できていない」と回答した項目はもちろん、「どちらともいえない」と回答した項目と多数見られた「できている」と回答した項目については、最上位の達成度の段階を目指して改善をすすめていきたい。

2) 基準に関する課題の認識について

各学科及び各部会、そして各部署が、6 つの評価基準についてどのような課題を認識しているかをまとめた。

まず“基準 1. 使命・目的等”における使命や目的の見直しに関する項目に対して、ある部署は「見直しは行っていない」と回答し、別の部署は「適宜見直し」と回答している。そして、この基準項目全体に対して、ある部署が‘掲載媒体の表現’を「原則統一している」と述べる一方で、別の部署では「一貫性を持った観点から精査する体制の必要性」を指摘している。この基準項目の課題は、全学的な合意と体制づくりが必要であると考えられる。

次に“基準 2. 学生”における基準項目及び各項目の一部に対して各学科と各部署より様々な課題が提起されている。早期解決が必要な課題もあれば長期的に対応すべき課題も見られる。また学生サービスの向上を提言している回答もある。いずれにしても、この基準に関しては全学的に総力をあげて取り組むべき課題である

ことは明らかであり、改善サイクルをとめることなく対応しなければならない。

続いて“基準 3. 教育課程”は、全ての学科及び部会、そして教学・学務の関係部署のそれぞれで課題を見いだしている。単位認定の厳格化、教授方法の高度化に関する回答が目立った。進級要件や卒業要件に GPA の導入、再試験制度の廃止など教学制度改革が進行している中での課題と言える。また、ディプロマ・ポリシーや学修成果の目標などの整備も取り組むべき課題として示されている。

また“基準 4. 教員・職員”では‘4-1. 教学マネジメントの機能性’について具体的な改善策が提案されていること、‘4-2. 教員の配置・職能開発等’では科目担当における適切な教員配置、あるいは教員配置上の人員不足などに関する課題が見られる。加えて、‘4-4. 研究支援’に関しても現況以上の対応を求める改善に関する提案がいくつか提出されている。

そして“基準 5. 経営・管理と財務”については、経営と管理(危機管理含む)の体制づくりや機能に関わる課題、事業活動収支の黒字化といった財務状況の改善に関する課題、あるいは改革総合支援事業の採択を可能とするための課題が示されている。

最後に“基準 6. 内部質保証”は、組織体制の整備及び責任体制の明確化に関する課題、教育の改善・向上に関する課題が示された。また本学の現状を把握するための調査・データを収集して分析する体制を構築するべきという意見があり、早急な改善が望まれている。

3) 基準に関する改善の取り組みの評価とコメントについて

各学科及び各部会、そして各部署における 6 つの基準に関する改善の取り組みの評価(0～5 の段階評定:数値が大きいほど高い評価)とコメント(自由記述)は以下のとおりであった。

改善の取り組みの評価の特徴は、大まかに言うと「学科及び部会に関連する基

準について必ず回答(評価)している」ものの、「部署の半数は関連する基準について回答していない箇所がある」ことである。これは、部署によっては基準に含まれる項目が業務に該当しないことが多々あり、その基準について評価することが適切でないと判断したことが考えられる。

また、改善の取り組みのコメントは、先の改善の取り組みの評価と同様に、回答していない箇所がいくつか見られる。それ以外の回答したコメントを確認すると、(自由記述であるので当然であるが)様々な記述があり、基準に関連した項目への達成度の回答の要約、基準についての意見や疑問、「改善はできている」といった一言などであった。

このように、基準に関する改善の取り組みの評価とコメントは、回答の解釈について検討を要すると言えるし、今後同様の問いを設けるなら回答方法に関して議論されるべきであろう。

5-2. 二次点検の回答の考察

計 34 の各学科及び各部会、そして各部署が実施した一次点検の回答について、その取りまとめの監督責任者は総括的评价として二次点検を実施した。この二次点検の主だった回答から、「一次点検の結果をどのように総括し、その総括から改善活動をどのように捉えているのか」を以下のとおり考察する。

まず、各学科の一次点検結果を総括した各学部長の二次点検の総括評価コメントに対して次の点が注目される。それは、個々の学科の現況の課題を把握し指摘しているのみならず、学科の特性を考慮し「先を見据えて」評価していることである。例えば、学生指導の向上や学科特性の明確化を含めた長期的課題を求めている、学部開設完成年度後の新たな改革をふまえた改善活動を準備していたり、設置学科の改善活動を支持しながら学部全体での改善活動を促す仕組みに取り組もうとしていたりする。このことから、監督責任者として日々の学科の教育活動への注力により、学部学科の現在から将来に継続した改善活動の重要性を指摘していると

考えられる。言い換えると、単年度で改善が実行されるものとは別の学科教育の改善サイクルの必要性に言及しているとも捉えられる。

つぎに、事務局各部署の一次点検結果を総括した監督責任者の二次点検の総括的コメントを見ると、通常業務の評価においてエビデンスの存在が大きいことが理解できる。それを示す例として、ある評価コメントでは改善すべき点の共通項はエビデンスが無いことを指摘しつつ、改善に必要なエビデンスの作成や収集を求めている。また別の評価コメントは、現状の円滑な改善活動をさらに推進するうえで、多くのエビデンス資料がその活動推進の端緒になることを述べている。このように、改善活動の成果としてのエビデンスと改善活動を起こすきっかけとしてのエビデンスが記述されていることから、改善サイクルをまわしていく要素としてエビデンスを位置づけていると考えられる。

以上のとおり、二次点検の回答を大まかにまとめると、学生に対する教育については単年度にとどまらない改善活動サイクルを必要とし、教育を支える事務運営についてはエビデンスと改善活動サイクルが不可分であると言える。

5-3. 自己点検全体の要約

今回、一次点検と二次点検という各々別個の方法を用いて大学自己点検を実施した。前回の点検を改善して臨んだ今回の自己点検全体を要約してみたい。

特筆すべきは、学生教育や事務運営において直接的に関与する組織（の担当者）と間接的に関与する監督責任者による重層的な視点から自己点検を実施したことである。この両者の点検結果が完全に合致していても乖離していても、それ自体が改善の対象となる刺激的な方法であったが、この方法の採用は大学組織として普段見過ごしていた点に「気づき」があったため良い機会になった。

それは、誰もが大学組織の課題について早急に対応すべきという意識はあるが、学生教育上の課題に対して「現場への近さ」や立場の違いによる改善サイクルの時

間的スパンの差異が明らかになったことである。授業担当や学生面談などで見いだした課題は至急の解決といった短期的な改善を要するが、カリキュラム構成や担当教員配置などで想定する課題は中・長期的な改善が求められるという事例に重なっている。

また、事務運営の改善サイクルにおいてエビデンス資料を単に「証拠物」と捉えるだけではなく、改善着手の手がかりにするという考えが提出された。これは、改善サイクルをまわすことは言うまでもなく重要であるが、そのサイクルが高みに向かっているかを点検するために「エビデンスの質や量の充実度」の上昇をもって「真の改善サイクル」と見なせる可能性を示唆している。

最後になるが、今回の自己点検では一次点検と二次点検の導入とあわせて、もう1つの新しい試みを採用する予定であったことを付け加えておく。その試みは、点検実施直前からのコロナ禍により学内諸行事の変更もあって採用が適わなかったが、大学自己点検において「本学が現在最も重視する教育の内部質保証に関するテーマ」を設定し、通常の点検に加えてそのテーマの視点から点検を徹底的に実施することであった。この試みについては、次回以降の点検において採用を議論したい。

6. 資料：大学自己点検の一次点検及び二次点検の回答の一覧

参考：一次点検回答部署一覧表 注：○印の箇所の受審基準について各部署が回答

(それ以外の基準の回答を含む場合あり)

受 審 基 準		部 署																						
基準 (領域)	基準項目	各学科	教学・教職 センター	各学会	基幹教育 機構事務局	教務課	学生課	FDセンター	入試・広報 部	キャリアサ ポートセン ター	課外教育 センター	学長室	学生相談 室	健康管理 室	国際交流 センター	地域協働 センター	学修支援 室	図書館事 務室	情報シス テム 室	総務・人事 課 (総務)	総務・人事 課 (人事)	財務会計 課	監査室	庶務課
1.使命・目的等 (使命・目的、教育目的)	1-1. 使命・目的及び教育目的 の設定											○												○
	1-2. 使命・目的及び教育目的 の反映											○												○
2.学生 (学生受入れ、教育内 容・方法、学修及び授業 の支援、学修評価、教員 配置等)	2-1. 学生の受入れ	○							○															
	2-2. 学修支援	○	○									○	○				○							
	2-3. キャリア支援	○				○				○														
	2-4. 学生サービス	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	2-5. 学修環境の整備	○	○			○	○				○		○				○	○	○					○
	2-6. 学生の意見・要望への対 応	○	○			○	○	○				○			○	○	○	○	○					○
3.教育課程 (卒業認定、教育課程、 学修成果)	3-1. 単位認定、卒業認定、修 了認定	○		○		○																		
	3-2. 教育課程及び教授方法	○		○		○		○																
	3-3. 学修成果の点検・評価	○	○	○		○	○	○		○														
4.教員・職員 (教学マネジメント、教 員・職員配置、研修、研 究支援)	4-1. 教学マネジメントの機能 性	○	○		○							○									○			
	4-2. 教員の配置・機能開発等	○	○		○			○													○			
	4-3. 職員の研修																				○			
	4-4. 研究支援	○	○		○																			○
5.経営・管理と財務 (経営の規律、理事会、 管理運営、財務基盤と収 支、会計)	5-1. 経営の規律と誠実性																			○				
	5-2. 理事会の機能																			○				
	5-3. 管理運営の円滑化と相互 チェック																			○		○	○	
	5-4. 財務基盤と収支																			○		○		
	5-5. 会計																			○		○	○	
6.内部質保証 (組織体制、自己点検・ 評価、PDCAサイクル)	6-1. 内部質保証の組織体制																							○
	6-2. 内部質保証のための自己 点検・評価																							○
	6-3. 内部質保証の機能性							○																○

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☒	☐	☐	☐	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☒	☐	☐	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☒	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a) 教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c) 教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☒	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☒	☐	☐	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b) シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

＜基準項目全体＞
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

[illegible]

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☒	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☒	☐	☐	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達 成 度	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
	☐	☐	☐	☒	☐	☒
	☐	☐	☐	☒	☐	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a)カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b)シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c)履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達 成 度	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
	☐	☐	☐	☒	☐	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

＜基準項目全体＞
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a) 教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c) 教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- ＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達 成 度	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
	☐	☐	☐	☒	☐	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b) シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達 成 度	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
	☐	☐	☐	☒	☐	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒
	☐	☐	☐	☐	☒	☒

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

☐☐☐☒☐☒

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐☐☐☐☒☒

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐☐☒☐☐☐

<基準項目全体>
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

☐☐☒☐☐☐

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

5

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>
入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- ＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a)カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b)シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c)履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

④教養教育を適切に実施しているか。	☐	☐	☐	☐	☒	☒
⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒

3-3. 学修成果の点検・評価

- ①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。
- ②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
①	☐	☐	☐	☒	☐	☒
②	☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準4. 教員・職員

<基準4の改善評価>

3

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

4-1. 教学マネジメントの機能性

- ①学長がリーダーシップを適切に発揮するための補佐体制が整備されているか。
- ② a) 使命・目的達成のため、教学マネジメントを構築しているか。
- ② b) 大学の意思決定の権限と責任が明確になっているか。
- ② c) 副学長を置く場合、その組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② d) 教授会などの組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② e) 教授会などに意見を聴くことを必要とする教育研究に関する重要な事項を学長があらかじめ定め、周知しているか。
- ② f) 大学の意思決定及び教学マネジメントが大学の使命・目的に沿って、適切に行われているか。
- ③教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確にしているか。

達成度	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
①	☐	☐	☐	☒	☐	☐
② a)	☐	☐	☐	☒	☐	☐
② b)	☐	☐	☐	☒	☐	☐
② c)	☐	☐	☐	☒	☐	☐
② d)	☐	☐	☐	☒	☐	☐
② e)	☐	☐	☐	☒	☐	☒
② f)	☐	☐	☐	☒	☐	☒
③	☐	☐	☐	☒	☐	☐

4-2. 教員の配置・職能開発等

- ① a) 大学及び大学院に必要な専任教員を確保し、適切に配置しているか。
- ① b) 教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。
- ②FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。

	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
① a)	☐	☒	☐	☐	☐	☒
① b)	☐	☐	☐	☒	☐	☒
②	☐	☐	☐	☒	☐	☒

4-3. 職員の研修

- ①職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを行っているか。

	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
①	☐	☐	☐	☒	☐	☒

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

☐☐☒☐☐☐

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐☐☐☒☐☐

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐☐☐☒☐☐

<基準項目全体>
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

☐☐☐☒☐☐

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

5

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>
入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

5

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a)カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b)シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c)履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

☐☐☐☒☐☒

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐☐☐☐☒☐

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐☐☐☒☐☒

<基準項目全体>
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

☐☒☐☐☐☐

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞
入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a) 教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c) 教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

5

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b) シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

☐☐☐☒☐☐

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐☐☐☒☐☒

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐☐☐☒☐☒

<基準項目全体>
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

☐☐☐☒☐☐

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☐

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a)カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b)シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c)履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

☐☐☐☒☐☐

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐☐☐☐☒☒

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐☐☒☐☐☐

<基準項目全体>
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

☐☐☒☐☐☒

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☒

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a)カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b)シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c)履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☐

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

☐☐☐☒☐☐

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐☐☐☐☒☒

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐☐☒☐☐☐

<基準項目全体>
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

☐☐☒☐☐☒

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☒

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

④教養教育を適切に実施しているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

3-3. 学修成果の点検・評価

①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

2

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

④教養教育を適切に実施しているか。

⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。

⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

3-3. 学修成果の点検・評価

①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。

②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

達成度

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

5

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

④教養教育を適切に実施しているか。

⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。

⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

3-3. 学修成果の点検・評価

①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。

②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

達成度

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☐

☒

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☐

☒

☒

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

④教養教育を適切に実施しているか。

⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。

⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

3-3. 学修成果の点検・評価

①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。

②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

④教養教育を適切に実施しているか。

⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。

⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

3-3. 学修成果の点検・評価

①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。

②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

達成度

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☒

☐

☒

☐

☐

☐

☒

☐

☐

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☒

☐

☒

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

まったくできていない できていない どちらともいえない できている とてもできている

エビデンスの有無

☐

☐

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☐

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

1

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞
入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a)障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b)オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c)教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d)中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a)インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b)就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a)学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b)奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c)学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d)学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☒	☐	☐	☐	☐
☐	☒	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

1

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

4-3. 職員の研修

①職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている
☐	☐	☐	☐	☐

エビデンス
の有無

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐

＜基準項目全体＞
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

2-5. 学修環境の整備

- ①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。
- ② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。
- ④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。
- <基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☐	☐

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準3. 教育課程

<基準3の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

3-2. 教育課程及び教授方法

- ①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ③ a)カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ③ b)シラバスを適切に整備しているか。
- ③ c)履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

達成度					エビデンス の有無
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

④教養教育を適切に実施しているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
⑤ a) アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
⑤ b) 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒

3-3. 学修成果の点検・評価

	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
①学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
②学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐
☐	☐	☐	☐	☒	☐

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

①教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

②③ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

3-2. 教育課程及び教授方法

①教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

②カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

③ a) カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

③ b) シラバスを適切に整備しているか。

③ c) 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

6-2. 内部質保証のための自己点検・評価

- ① a) 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価をどのように行っているか。
- ① b) エビデンスに基づく、自己点検・評価を定期的実施しているか。
- ②現状把握のための十分な調査・データの収集と分析を行える体制を整備しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

6-3. 内部質保証の機能性

- ① a) 自己点検・評価、認証評価及び設置計画履行状況等調査などの結果の活用により、中長期的な計画を踏まえた大学運営の改善・向上を図るなど、内部質保証の仕組みが機能しているか。
- ① b) 三つのポリシーを起点とした内部質保証が行われ、その結果が教育の改善・向上に反映されているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☐
☐	☐	☒	☐	☐	☐

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible]

エビデンスの有無			
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている とても できている

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

--	--	--	--	--	--

□ □ □ □ □ □

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b)就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5. 学修環境の整備

[illegible]

2-6. 学生の意見・要望への対応

[illegible]

基準3. 教育課程

＜基準3の改善評価＞

➤

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

[illegible]

3-2. 教育課程及び教授方法

[illegible]

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

[illegible]

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible]

基準1. 使命・目的等

<基準1の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

1-1. 使命・目的及び教育目的の設定

①使命・目的及び教育目的を具体的に明文化しているか。

②使命・目的及び教育目的を簡潔に文章化しているか。

③使命・目的及び教育目的に大学の個性・特色を反映し、明示しているか。

④社会情勢などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育目的の見直しなどを行っているか。

<基準項目全体>

使命・目的及び教育目的が、掲載する媒体により、異なる表現となっている場合、その趣旨が一貫したものとなっているか。

1-2. 使命・目的及び教育目的の反映

①使命・目的及び教育目的の策定などに役員、教職員が関与・参画しているか。

②使命・目的及び教育目的をどのように学内外に周知しているか。

③使命・目的及び教育目的を中長期的な計画に反映させているか。

④使命・目的及び教育目的を三つのポリシーに反映させているか。

⑤使命・目的及び教育目的を達成するために必要な学部・学科等の教育研究組織が整備されているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒

☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b)就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

[illegible]

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

基準4. 教員・職員

＜基準4の改善評価＞

3

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

4-1. 教学マネジメントの機能性

- ①学長がリーダーシップを適切に発揮するための補佐体制が整備されているか。
- ② a) 使命・目的達成のため、教学マネジメントを構築しているか。
- ② b) 大学の意思決定の権限と責任が明確になっているか。
- ② c) 副学長を置く場合、その組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② d) 教授会などの組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② e) 教授会などに意見を聴くことを必要とする教育研究に関する重要な事項を学長があらかじめ定め、周知しているか。
- ② f) 大学の意思決定及び教学マネジメントが大学の使命・目的に沿って、適切に行われているか。
- ③教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確にしているか。

4-2. 教員の配置・職能開発等

- ① a) 大学及び大学院に必要な専任教員を確保し、適切に配置しているか。
- ① b) 教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。
- ②FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。

4-3. 職員の研修

- ①職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを行っているか。

4-4. 研究支援

①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

＜基準項目全体＞
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

[illegible]

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞
入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度

まったく
できていない

できていない

どちらとも
いえない

できている

とても
できている

エビデンス
の有無

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

まったく
できていない

できていない

どちらとも
いえない

できている

とても
できている

エビデンス
の有無

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☒

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☒

まったく
できていない

できていない

どちらとも
いえない

できている

とても
できている

エビデンス
の有無

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

まったく
できていない

できていない

どちらとも
いえない

できている

とても
できている

エビデンス
の有無

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☒

☐

☒

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible][illegible]

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	エビデンスの有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	エビデンスの有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	エビデンスの有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b)適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

[illegible]

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible]

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞
入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b)就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible][illegible]

基準1. 使命・目的等

<基準1の改善評価>

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

1-1. 使命・目的及び教育目的の設定

①使命・目的及び教育目的を具体的に明文化しているか。

②使命・目的及び教育目的を簡潔に文章化しているか。

③使命・目的及び教育目的に大学の個性・特色を反映し、明示しているか。

④社会情勢などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育目的の見直しなどを行っているか。

<基準項目全体>

使命・目的及び教育目的が、掲載する媒体により、異なる表現となっている場合、その趣旨が一貫したものとなっているか。

1-2. 使命・目的及び教育目的の反映

①使命・目的及び教育目的の策定などに役員、教職員が関与・参画しているか。

②使命・目的及び教育目的をどのように学内外に周知しているか。

③使命・目的及び教育目的を中長期的な計画に反映させているか。

④使命・目的及び教育目的を三つのポリシーに反映させているか。

⑤使命・目的及び教育目的を達成するために必要な学部・学科等の教育研究組織が整備されているか。

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b)就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

[illegible]

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible]

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

＜基準項目全体＞

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

[illegible][illegible]

基準2. 学生

＜基準2の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

[illegible]

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☒	☐		☒
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a)教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c)教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分に上げられるような人数となっているか。

＜基準項目全体＞
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

2-6. 学生の意見・要望への対応

①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。

②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。

③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☒	☐		☒
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

[illegible]

基準5. 経営・管理と財務

＜基準5の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

5-1. 経営の規律と誠実性

①組織倫理に関する規則に基づき、適切な運営を行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

②使命・目的を実現するために継続的な努力をしているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

③ a) 環境や人権について配慮しているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

③ b) 学内外に対する危機管理の体制を整備し、かつ適切に機能しているか。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

5-2. 理事会の機能

① a) 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、適切に機能しているか。

まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	エビデンスの有無
------------	--------	-----------	-------	----------	----------

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

① b) 理事の選任及び事業計画の確実な執行など理事会の運営は適切に行われているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

＜基準項目全体＞
理事の出席状況及び欠席時の委任状は適切か。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック

① a) 意思決定において、法人及び大学の各管理運営機関の意思疎通と連携を適切に行っているか。

まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	エビデンスの有無
------------	--------	-----------	-------	----------	----------

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

① b) 理事長がリーダーシップを発揮できる内部統制環境を整備しているか。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

① c) 教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

② a) 法人及び大学の各管理運営機関が相互チェックする体制を整備し、適切に機能しているか。

☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒

② b) 監事の選任は適切に行われているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

② c) 評議員の選任及び評議員会の運営は適切に行われているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

＜基準項目全体＞
a) 監事は、理事会及び評議員会などへの出席状況は適切か。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

＜基準項目全体＞
b) 監事は、理事会及び評議員会などへ出席し、学校法人の業務又は財産の状況について意見を述べているか。

☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

＜基準項目全体＞
c) 評議員の評議員会への出席状況は適切か。

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

5-4. 財務基盤と収支

①中長期的な計画に基づく財務運営を行っているか。

② a) 安定した財務基盤を確立しているか。

② b) 使命・目的及び教育目的の達成のため、収入と支出のバランスが保たれているか。

② c) 使命・目的及び教育目的の達成のため、外部資金の導入の努力を行っているか。

5-5. 会計

①学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。

②会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。

＜基準項目全体＞
 予算と著しくかい離がある決算額の科目について、補正予算を編成しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

基準4. 教員・職員

＜基準4の改善評価＞

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

4-1. 教学マネジメントの機能性

- ①学長がリーダーシップを適切に発揮するための補佐体制が整備されているか。
- ② a) 使命・目的達成のため、教学マネジメントを構築しているか。
- ② b) 大学の意思決定の権限と責任が明確になっているか。
- ② c) 副学長を置く場合、その組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② d) 教授会などの組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② e) 教授会などに意見を聴くことを必要とする教育研究に関する重要な事項を学長があらかじめ定め、周知しているか。
- ② f) 大学の意思決定及び教学マネジメントが大学の使命・目的に沿って、適切に行われているか。
- ③教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確にしているか。

[illegible]

4-2. 教員の配置・職能開発等

① a) 大学及び大学院に必要な専任教員を確保し、適切に配置しているか。

① b) 教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。

② FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

4-3. 職員の研修

①職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒

4-4. 研究支援

- ① 快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。
- ② 研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。
- ③ 研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

＜基準項目全体＞
研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

[illegible]

5-4. 財務基盤と収支	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
①中長期的な計画に基づく財務運営を行っているか。	☐	☐	☐	☐	☒	☒
② a) 安定した財務基盤を確立しているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
② b) 使命・目的及び教育目的の達成のため、収入と支出のバランスが保たれているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
② c) 使命・目的及び教育目的の達成のため、外部資金の導入の努力を行っているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒
5-5. 会計	まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
①学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。	☐	☐	☐	☐	☒	☒
②会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。	☐	☐	☐	☐	☒	☒
＜基準項目全体＞ 予算と著しくかい離がある決算額の科目について、補正予算を編成しているか。	☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準5. 経営・管理と財務

＜基準5の改善評価＞

4

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

5-1. 経営の規律と誠実性

①組織倫理に関する規則に基づき、適切な運営を行っているか。

②使命・目的を実現するために継続的な努力をしているか。

③ a) 環境や人権について配慮しているか。

③ b) 学内外に対する危機管理の体制を整備し、かつ適切に機能しているか。

5-2. 理事会の機能

① a) 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、適切に機能しているか。

① b) 理事の選任及び事業計画の確実な執行など理事会の運営は適切に行われているか。

＜基準項目全体＞
理事の出席状況及び欠席時の委任状は適切か。

5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック

① a) 意思決定において、法人及び大学の各管理運営機関の意思疎通と連携を適切に行っているか。

① b) 理事長がリーダーシップを発揮できる内部統制環境を整備しているか。

① c) 教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。

② a) 法人及び大学の各管理運営機関が相互チェックする体制を整備し、適切に機能しているか。

② b) 監事の選任は適切に行われているか。

② c) 評議員の選任及び評議員会の運営は適切に行われているか。

＜基準項目全体＞
a) 監事は、理事会及び評議員会などへの出席状況は適切か。

＜基準項目全体＞
b) 監事は、理事会及び評議員会などへ出席し、学校法人の業務又は財産の状況について意見を述べているか。

＜基準項目全体＞
c) 評議員の評議員会への出席状況は適切か。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☐	☒	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

5-4. 財務基盤と収支

①中長期的な計画に基づく財務運営を行っているか。

② a) 安定した財務基盤を確立しているか。

② b) 使命・目的及び教育目的の達成のため、収入と支出のバランスが保たれているか。

② c) 使命・目的及び教育目的の達成のため、外部資金の導入の努力を行っているか。

5-5. 會計

①学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。

②会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。

＜基準項目全体＞
予算と著しくかい離がある決算額の科目について、補正予算を編成しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている		エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐
☐	☐	☐	☐	☐		☐

基準1. 使命・目的等

<基準1の改善評価>

4

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

1-1. 使命・目的及び教育目的の設定

①使命・目的及び教育目的を具体的に明文化しているか。

②使命・目的及び教育目的を簡潔に文章化しているか。

③使命・目的及び教育目的に大学の個性・特色を反映し、明示しているか。

④社会情勢などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育目的の見直しなどを行っているか。

<基準項目全体>

使命・目的及び教育目的が、掲載する媒体により、異なる表現となっている場合、その趣旨が一貫したものとなっているか。

1-2. 使命・目的及び教育目的の反映

①使命・目的及び教育目的の策定などに役員、教職員が関与・参画しているか。

②使命・目的及び教育目的をどのように学内外に周知しているか。

③使命・目的及び教育目的を中長期的な計画に反映させているか。

④使命・目的及び教育目的を三つのポリシーに反映させているか。

⑤使命・目的及び教育目的を達成するために必要な学部・学科等の教育研究組織が整備されているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

基準2. 学生

<基準2の改善評価>

3

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

2-1. 学生の受入れ

①教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。

②アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しその検証を行っているか。

③教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

<基準項目全体>

入試問題の作成は、大学が自ら行っているか。

達成度					エビデンスの有無
まったくできていない	できていない	どちらともいえない	できている	とてもできている	

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2-2. 学修支援

①教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。

② a) 障がいのある学生への配慮を行っているか。

② b) オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。

② c) 教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。

② d) 中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

2-3. キャリア支援

① a) インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。

① b) 就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

2-4. 学生サービス

① a) 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能しているか。

① b) 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。

① c) 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。

① d) 学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

2-5. 学修環境の整備

①教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、付属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。

② a) 教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、かつ有効に活用しているか。

② b) 適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。

② c) 教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。

③施設・設備の利便性（バリアフリーなど）に配慮しているか。

④授業を行う学生数（クラスサイズなど）は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。

<基準項目全体>
施設・設備の安全性（耐震など）を確保しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☒	☐	☐	☐	☒
☐	☒	☐	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☒	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☒	☐	☒

2-6. 学生の意見・要望への対応

- ①学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ②学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ③施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

基準4. 教員・職員

＜基準4の改善評価＞

2

「0 ～ 5」の整数：
数字（大）ほど高評価

4-1. 教学マネジメントの機能性

- ①学長がリーダーシップを適切に発揮するための補佐体制が整備されているか。
- ② a) 使命・目的達成のため、教学マネジメントを構築しているか。
- ② b) 大学の意思決定の権限と責任が明確になっているか。
- ② c) 副学長を置く場合、その組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② d) 教授会などの組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ② e) 教授会などに意見を聴くことを必要とする教育研究に関する重要な事項を学長があらかじめ定め、周知しているか。
- ② f) 大学の意思決定及び教学マネジメントが大学の使命・目的に沿って、適切に行われているか。
- ③教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確にしているか。

4-2. 教員の配置・職能開発等

- ① a) 大学及び大学院に必要な専任教員を確保し、適切に配置しているか。
- ① b) 教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。
- ②FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。

4-3. 職員の研修

- ①職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを行っているか。

4-4. 研究支援

- ①快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。

- ②研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。

- ③研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA (Research Assistant) などの人的支援を行っているか。

＜基準項目全体＞

研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☒	☐	☐	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

基準5. 経営・管理と財務

＜基準5の改善評価＞

3

「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

5-1. 経営の規律と誠実性

- ①組織倫理に関する規則に基づき、適切な運営を行っているか。

- ②使命・目的を実現するために継続的な努力をしているか。

- ③ a) 環境や人権について配慮しているか。

- ③ b) 学内外に対する危機管理の体制を整備し、かつ適切に機能しているか。

[illegible]

5-2. 理事会の機能

- ① a) 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、適切に機能しているか。

- ① b) 理事の選任及び事業計画の確実な執行など理事会の運営は適切に行われているか。

＜基準項目全体＞

理事の出席状況及び欠席時の委任状は適切か。

[illegible]

5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック

- ① a) 意思決定において、法人及び大学の各管理運営機関の意思疎通と連携を適切に行っているか。

- ① b) 理事長がリーダーシップを発揮できる内部統制環境を整備しているか。

- ① c)教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。

- ② a) 法人及び大学の各管理運営機関が相互チェックする体制を整備し、適切に機能しているか。

- ② b) 監事の選任は適切に行われているか。

- ② c) 評議員の選任及び評議員会の運営は適切に行われているか。

[illegible]

<基準項目全体>
a) 監事は、理事会及び評議員会などへの出席状況は適切か。

<基準項目全体>
b) 監事は、理事会及び評議員会などへ出席し、学校法人の業務又は財産の状況について意見を述べているか。

<基準項目全体>
c) 評議員の評議員会への出席状況は適切か。

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

5-4. 財務基盤と収支

①中長期的な計画に基づく財務運営を行っているか。

② a) 安定した財務基盤を確立しているか。

② b) 使命・目的及び教育目的の達成のため、収入と支出のバランスが保たれているか。

② c) 使命・目的及び教育目的の達成のため、外部資金の導入の努力を行っているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

5-5. 会計

①学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。

②会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。

<基準項目全体>
予算と著しくかい離がある決算額の科目について、補正予算を編成しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

基準6. 内部質保証

<基準6の改善評価> 3 「0 ～ 5」の整数：
数字(大)ほど高評価

6-1. 内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立

① a) 内部質保証のための恒常的な組織体制を整備しているか。

① b) 内部質保証のための責任体制が明確になっているか。

達 成 度	エビデンス の有無				
まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒

6-2. 内部質保証のための自己点検・評価

① a) 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価をどのように行っているか。

① b) エビデンスに基づく、自己点検・評価を定期的に実施しているか。

②現状把握のための十分な調査・データの収集と分析を行える体制を整備しているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☒	☐	☐	☐	☐

6-3. 内部質保証の機能性

① a) 自己点検・評価、認証評価及び設置計画履行状況等調査などの結果の活用により、中長期的な計画を踏まえた大学運営の改善・向上を図るなど、内部質保証の仕組みが機能しているか。

① b) 三つのポリシーを起点とした内部質保証が行われ、その結果が教育の改善・向上に反映されているか。

まったく できていない	できていない	どちらとも いえない	できている	とても できている	エビデンス の有無
☐	☐	☐	☒	☐	☒
☐	☐	☒	☐	☐	☒

2019 年度 大学自己点検(簡易版)二次点検
回 答 用 紙

二次点検実施部署・役職者

経営経済学部長 グローバルビジネス学部長 佐藤 智明

一次点検実施部署

経営学科 経済学科 グローバルビジネス学科

<総括的評価コメント欄>

2 学部 3 学科の結果から、総体的に達成度は充実していることが伺われた。

経営経済学部の経営学科では、「基準 2. 学生」及び「基準 3. 教育課程」において、ほとんどの項目で「できている」「とてもできている」の回答となっており、充実度は高い。しかし、「2-5. 学習環境の整備」では良好な結果は得られておらず、大学全体の取り組みとして施設設備の充実が望まれる。同学部の経済学科では、経営学科よりもさらに充実度が高く、両学科共に経営経済学部の改善サイクルがしっかりと機能しているといえる。グローバルビジネス学科においては、慢性的な定員割れから募集停止をしたこともあり、「2-1. 学生の受け入れ」の達成度は低い。このことを踏まえ、その後開設の経営経済学部では、改革を実施した事から、「2-1. 学生の受け入れ」の達成度は高い結果につながっている。

2021 年からは、経営経済学部で完成年度後に向けての新たな改革が進められることから、今回の結果を踏まえて、更なる改善活動を活性化していきたい。

2019 年度 大学自己点検(簡易版)二次点検
回 答 用 紙

二次点検実施部署・役職者

人間科学部長 縄田 文子

一次点検実施部署

心理コミュニケーション学科 人間健康科学科 スポーツ行動学科

<総括的評価コメント欄>

3 学科の一次点検の結果から、全体的に各項目の達成度は高く、改善評価も高得点であることが見受けられた。

心理コミュニケーション学科においては基準 3 の教育課程についてディプロマポリシーを考慮した改善の取り組みが視え、人間健康科学科においては基準 2 の学生や基準 3 の教育課程について達成度と改善評価が高く改善サイクルを円滑に遂行しているようで、スポーツ行動学科においては基準 2 の学生と基準 3 の教育課程のほぼ全ての項目について課題の記述があり改善のための具体的な内容を意識していることが理解できた。

今回の一次点検を概観して各学科の改善の取り組みを支持する一方、学部として特に教育内容の改善活動を促す仕組みを検討していきたい。

2019 年度 大学自己点検(簡易版)二次点検
回 答 用 紙

二次点検実施部署・役職者

国際教養学部長 瀬島 誠

一次点検実施部署

国際コミュニケーション学科 国際観光学科

<総括的評価コメント欄>

本学部の2学科運営は学部長指導の下、一元的に行われている。そのため、両学科の評価はほぼ同一のものとなっている。

全般的に、両学科とも各項目の評価は概ね「とてもできている」「できている」の項目が該当し、基準2. 学生、基準3. 教育課程、基準4. 教員・職員の各項目については、概ね改善されていると評価出来る。

更なる長期的な課題として、第一に、本学部の特性として、よく言えば、おっとりし、のんびり気味の学生が多く、卒業後のキャリアパスを意識した学生指導が十分ではない。学生への周知や指導の工夫が求められる。第二に、教養を学部特性として掲げ両学科の特性を相互に活用した学部教育運営が行われるが、そのため、各学科の教育特性が若干、曖昧になりがちである。今後は、国際コミュニケーション学科のビジネスや ICT 教育、観光学科の観光やエンターテインメントなど、それぞれの特性を活かした教育の在り方を検討していく。

2019 年度 大学自己点検(簡易版)二次点検
回 答 用 紙

二次点検実施部署・役職者

基幹教育機構長 森上 幸夫

一次点検実施部署

語学教育部会 情報教育部会 キャリア教育部会 日本語教育部会 教養教育部会
基幹教育機構事務室

<総括的評価コメント欄>

語学、情報、キャリア、日本語、教養の5つの教育部会はディプロマポリシーやカリキュラムポリシーの代わりとなる「学修成果の目標」や「教育課程編成・実施の方針」にもとづき「基準3. 教育課程」の項目に対して一次点検を実施している。その結果をみると、情報以外の教育部会は概ね改善サイクルの取り組みが実施されていると言える。情報教育部会においては学修成果や教育課程に即した教育の展開を再検討する必要があるだろう。

また、基幹教育機構事務室は一次点検の結果から判断すると、「基準4. 教員・職員」の項目に関して改善活動が円滑に進められていることが分かり、多くの項目についてエビデンス資料があることで今後のさらなる改善の手がかりになる判断材料を有していると考えられる。

